

和歌山ろうさい病院広報誌

わろうて

わかやまろうさい病院からのおてがみ

わろうて春号 新年度にあたりまして

和歌山ろうさい病院
副院長 小林 康人

新年度にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

この2月のピョンチャンオリンピック・パラリンピックでは羽生選手や小平選手、高木姉妹などの大活躍で、冬季では過去最多のメダルを獲得し、日本中が歓喜し、特にパシュート競技では一糸乱れぬ滑走と時間ロスのない先頭選手の交替で日本のチーム力が世界から称賛されました。わが和歌山ろうさい病院もチーム力では引けを取らず、彼らの頑張りにあやかって今年度も頑張りたいと思っています。

さて、今年度の診療・介護報酬改定も済みましたが、新しい制度のもとでいったい病院、診療所の経営はどうなるのか、手探りの状態かと思われます。政府は地域包括ケアシステム構築のための取り組みの一つとして、入院前から患者支援を行った場合の評価を新設しています。当院では現在の患者サポートセンターの下部組織として入退院支援センターを設置し、入院を予定している患者がどのような入院生活や治療過程を辿るのかイメージしやすくするため、外来受診時に、治療の説明、オリエンテーション、持参薬の確認、褥瘡・栄養スクリーニングなどを行います。さらに入院中に多職種で退院支援、治療と就労の両立支援に関わり、在宅への復帰や地域の先生方にスムーズにバトンタッチできるようにいたします。

一方、2025年問題乗り越えるために一昨年から始まった地域医療構想調整会議も回を重ねるにつれ、個々の病院の建前と本音が垣間見えてきています。

和歌山保険医療圏には4つの公的病院がありますが、当院は紀の川の北に位置し、河北地区の唯一の公的病院です。災害時に旧市街との交通が遮断されますと、災害拠点病院として地域住民の生命を守るため、高度の急性期医療が必要であり、その真価が問われます。また、平時でも当院は泉南地区からの救急患者を多く受け入れておりますが、県が行う和歌山保険医療圏内での調整会議では検討されないため、今後も県外からの患者に必要な急性期病床の必要性を訴えて参ります。

4月から救急科専門医師が1名増員され、2名体制となります。地域の先生方からの救急患者受け入れ要請に対しましてはよりスムーズに対応できると考えておりますが、今年の冬の様に満床状態が続きますと、なかなか入院が必要な患者の受け入れができない現状もございますのでご理解を頂きたいと存じます。また、3月11日には和歌山医大救急救命センターとの2回目のドクターヘリの離発着訓練を行い、近隣住民の了解も得て、平時でのヘリポートの運用に向けて準備中です。

新年度も職員一同、病診・病病連携を進めるべく頑張る所存でございますので、尚一層の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。

日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本93番1

TEL.073-451-3181 (代) FAX.073-452-7171 (代)・073-451-3788 (地域連携室専用FAX)

E-mail.soumu@wakayamah.johas.go.jp URL.http://www.wakayamah.johas.go.jp

和歌山ろうさい病院理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

低侵襲手術で患者さんに優しい治療を提供します！

和歌山ろうさい病院外科は消化器外科、内視鏡外科、一般外科を担当しています。具体的には食道がん、胃がん、胃GIST、大腸がん、肝臓がん、膵がん、胆道がんなどの消化器がんの手術や食道裂孔ヘルニア、食道アカラシア、胆石症、消化管穿孔、腸閉塞、痔などの様々な消化器良性疾患や鼠径ヘルニアなどの一般外科疾患の治療を行っています。

特に最近では“がん”に対する腹腔鏡や胸腔鏡を用いた内視鏡外科手術に力を入れており（日本内視鏡外科学会技術認定医2名）、その割合が年々増加しています。また2016年からは3D内視鏡システムを導入し、2D映像では困難だった対象臓器の立体的な把握が3D映像では容易になりより精緻な手術が行えるようになっていました。以下に当科で行っている内視鏡下手術について紹介します。

食道癌：90%以上の患者さんに胸腔鏡下食道切除、腹腔鏡下胃管作製を行っています。この手術は胸部に1cm程度の穴を数個開けるだけで手術を行うもので従来から一般的に行われている開胸手術と異なり術後の呼吸器機能への影響を最小限にすることができます。また周術期のリハビリを積極的に導入しており合併症の予防に努めています。食道癌の手術は高い専門性が必要とされます。当科では食道外科専門医が中心となり手術を行っています。

胃 癌：高度進行例以外には基本的に腹腔鏡下手術を行っています。幽門側胃切除、幽門保存胃切除、胃全摘、噴門側胃切除などすべての術式に対応しています。切除後の再建もすべて体腔内で行っています。近年増加傾向にある食道胃接合部癌も腹腔鏡あるいは胸腔鏡を用いながら部位に応じた適切な術式を選択して行っています。

大腸癌：結腸癌、直腸癌とも腹腔鏡下手術を第1選択としています。特に骨盤内の狭い領域では開腹手術よりも細かな解剖がよく観察でき精度の高い手術が可能となっています。

いずれも開腹手術に比べて明らかに術後の傷の痛みが少なく、腸管の蠕動運動の回復が早く癒着も少ないなどメリットが多く患者さんに優しい外科治療といえます。

もちろん高度の癒着を伴う場合、他の重要臓器、血管に浸潤を伴う進行癌など開腹手術が適切と考えられる場合もあります。さらに膵臓、胆道、肝臓領域の癌の手術では合併症を最小限に抑えた安全で合理的な開腹手術を行っています。

高齢の患者さんが増加し糖尿病、脳血管障害、虚血性心疾患、呼吸器機能障害、認知症など併存疾患を有する患者さんがかなりの割合を占めています。幸い当院は専門性の高い診療科がかなり充実しており、必要であれば術前からかなり柔軟にかつ迅速に対応していただいています。今後ますます高齢化が進む中で和歌山ろうさい病院の総合力が外科治療の治療成績の（安全性）向上に寄与するものと考えています。

現在のスタッフは小林康人副院長、岩橋 誠、山本 基、坂口 聡、清水敦史と本年4月より新たに加わった宮本 篤の計6名です。平均年齢は高めではありますが、個々の経験と得意分野を生かしながら全員で力を合わせて日々頑張っております。近隣地域の皆様、医療機関の皆様はもちろんのこと遠方の皆様からもより一層の信頼をいただけるようさらに精進して参りたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。



3D内視鏡システムによる胃癌手術



外科スタッフ（左より清水、坂口、小林、岩橋、山本、宮本）

中央リハビリテーション部

リハビリテーションで合併症予防、機能回復促進を!!

リハビリテーション科および中央リハビリテーション部は、リハ医師2名、理学療法士9名、作業療法士4名、言語聴覚士1名、受付1名の総勢17名体制で日々診療を行っています（平成30年4月現在）。対象疾患として、整形外科疾患全般、脳卒中などの脳血管疾患、肺炎やCOPDなどの呼吸器疾患、摂食嚥下機能（食事）の低下、長期間の寝たきり等により通常の生活が困難な方など、幅広くリハビリテーションを行っております。

平成25年11月からは、がん患者様を対象に、周術期（手術前後）および緩和ケアに至るまでリハビリテーションを開始しています。外科医師指導の下、看護師、管理栄養士、臨床工学技士などの多職種と協力し、これまで以上に質の高い周術期リハビリテーションを実施しています。具体的には、手術前よりオリエンテーション、体力向上などのリハビリテーションを開始し、術後呼吸器合併症の予防や機能回復促進に努めています。術前から介入することにより患者様の手術前後のリハビリテーションに対する理解が深まり、術後もスムーズな介入が可能になっています。術後は手術翌日から外科医師による全身管理の下、離床を開始しています。早期に歩行まで活動性を向上させ、肺炎、無気肺、下側肺障害、筋力低下などの合併症の発症率を抑え、良好な結果が得られています。また、患者様の許可を得て術前後の身体機能の評価をデータ化し、今後の診療に繋げるべく研究も行っています。

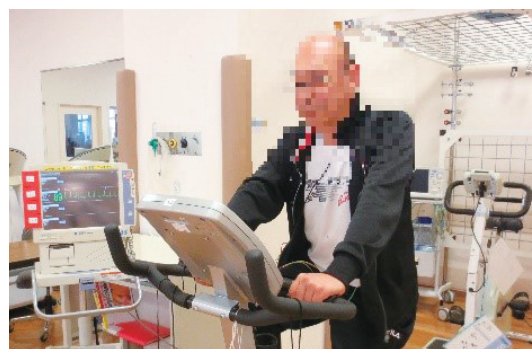
さらに、平成29年5月より循環器内医師指導の下、心筋梗塞や慢性心不全の患者様を対象にリハビリテーションを開始しています。当院クリニカルパスに則り離床を進め、日常生活動作(ADL)の獲得や再発予防に努めています。まだまだ実績等はこれからですが、死亡率の低下や再入院のリスクを低減させるなど、今後期待されるリハビリテーションの一つとされています。

また、対象者は限られますが、平成29年4月より、平日だけでなく、土曜日もリハビリテーションを開始し、さらにリハビリテーションの機会も拡大しております。

平成30年4月より手外科専門医が2名となり、さらに高度な手外科手術後のリハビリテーションが要求されることになり、現在体制を強化しています。今後も様々な取り組みを行い、リハビリテーションの質の向上に取り組んで行く所存です。



手術翌日 午前 ICU
食道がん手術翌日 外科医師と離床開始



心臓リハビリテーション実施風景



中央リハビリテーション部一同

平成30年1月および平成30年4月新任医師紹介



なかたに なおき
中谷 如希 先生

第二整形外科部長

中谷如希です。なおきと読みます。名前が読めなくて早速御迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いします。



しもまつ たつや
下松 達哉 先生

第二皮膚科部長

皮膚科一般の診察を行っています。微力ながら頑張りますので宜しくお願いします。



きたやま じゅんいち
北山 淳一 先生

第二救急科部長

「攻めの救急医療」を目指します。



いわた しょうえい
岩田 勝栄 先生

整形外科

手外科、マイクロサージャリー、外傷が専門分野です。これまでの経験を生かし、地域医療に貢献する所存です。



なかむら けんた
中村 憲太 先生

整形外科

外傷整形一般、関節外科を主として診療を行ってきました。地域に貢献できるようにがんばります。



みやもと あつし
宮本 篤 先生

外科

4月からろうさい病院でお世話になる事になりました宮本篤と申します。よろしくお願いします。

平成30年1月および平成30年4月新任医師紹介



やまもと やすのり
山本 康德 先生

循環器内科

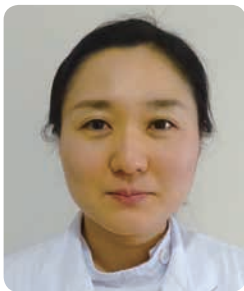
4月に循環器内科に赴任しました。地域の皆様の健康に貢献できるよう努力しますので宜しくお願いいたします。



まつもと たくや
松本 拓也 先生

神経内科

神経内科（卒後5年目）の松本です。至らぬ点が多いかと思いますが、よろしくお願い致します。



まつかわ ひとみ
松川 仁登美 先生

産婦人科

女性医学に興味があり産婦人科に入局して2年目になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



きしもと しょうへい
岸本 祥平 先生

呼吸器内科

患者様の医療を微力ながらサポートできたと期待して働いています。宜しくお願い致します。



きたはら ちえ
北原 千愛 先生

内科

4月から内科で働かせて頂きます。患者様に寄り添う医療を目指し頑張りますのでよろしくお願い致します。



でぐち かほり
出口 佳芳里 先生

麻酔科

麻酔科後期研修2年目の出口佳芳里です。1月から和歌山ろうさい病院にお世話になることとなりました。よろしくお願い致します。

平成30年1月および平成30年4月新任医師紹介



きたやま まゆこ
北山 麻祐子 先生

麻酔科

4月から勤務させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。



にわ まやこ
丹羽 麻也子 先生

神経内科

まだまだ勉強中の身ですが、精一杯がんばりますのでよろしくお願いいたします。



なべしま ゆうた
鍋島 優太 先生

初期臨床研修医

これからろうさい病院の職員の一員として精一杯頑張ります。人見知りの私ですが、どうぞよろしくお願いいたします。



なかはた あきや
中畑 明耶 先生

初期臨床研修医

一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



てらわき ひょうま
寺脇 平真 先生

初期臨床研修医

精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。



かんじょう まさや
勘定 正哉 先生

初期臨床研修医

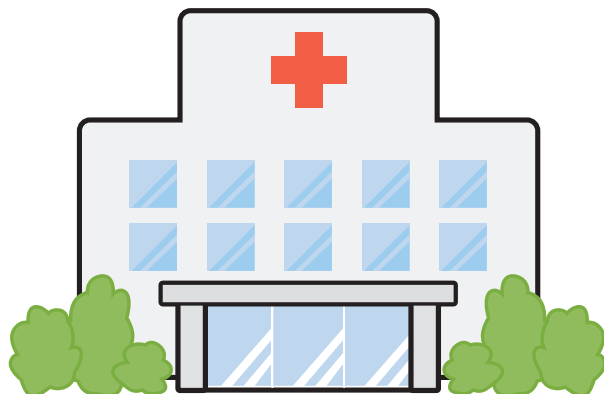
しっかりと研修をがんばっていきます。よろしくお願いいたします。



ひび さとし
日比 賢志 先生

初期臨床研修医

患者さんの立場になって考え、安心して何でも相談してもらえるような医師になりたいと思います。



かかりつけ医のご紹介

和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

医療法人 愛晋会 中江病院

診療科目 内科、循環器内科、消化器内科、胃腸内科、呼吸器内科、神経内科、糖尿病内科、内視鏡内科、外科、消化器外科、乳腺内科、整形外科、内視鏡外科、脳神経外科、リハビリテーション科、放射線科、眼科、麻酔科

病床数 192床

住所 〒640-8461 和歌山県和歌山市船所30-1

電話 073-451-0222



なかえ さとし
中江 聡 院長



中江病院は1983年に和歌山市船所に開設されました。開設されて以来“慈愛と進歩”をモットーに患者様が生き生きとした日常生活を送れるよう医療活動を行われています。

内視鏡による治療を主軸とし内科・外科・整形外科など、幅広い診療を行っておられます。

内視鏡センターが併設され、和歌山県日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会、日本大腸肛門病学会指導認定施設であり、経験豊富な医師の高度な医療技術を提供しておられます。なお和歌山県内で唯一日本カプセル内視鏡学会の指導施設として認定されています。苦しくない内視鏡検査として、経鼻内視鏡検査やカプセル内視鏡を行われており、患者様は安心して検査を受けることができるのではないのでしょうか。

また膝・肩関節センターも併設され、経験豊富な医師による診断と手術、そして丁寧なリハビリを実施できる環境が整えられています。さらに介護や訪問看護にもグループとして早くから取り組まれており、切れ目のないサポートをされています。

患者様に安心して質の良い医療を提供するために、常に医療サービスの向上を目指されており地域医療の発展に貢献されている医療機関です。和歌山ろうさい病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、欠かすことのできない重要な連携協力医療機関（パートナー）です。

和歌山ろうさい病院（外来診療科担当医一覧表）平成30年4月1日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金	手術日
内科	A	①番	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	—
		②番	三長 敬昌	中島 咲子	若崎 久生	三長 敬昌	北原 千愛	
		⑦番	大伴 裕美子（午前） （腎臓内科）	南條 輝志男	—	—	—	
神経内科	A	⑪番	梶本 賢義	松本 拓也	休 診	梶本 賢義	梶本 賢義	—
		⑭番	—	—		松本 拓也	—	
		⑬番	丹羽 麻也子（午前）	—		—	—	
血液内科	A	⑩番	阪口 臨	阪口 臨	休 診	小畑 裕史 （午前）	休 診	—
呼吸器内科	A	⑤番	細 隆信	細 隆信	岸本 祥平	細 隆信	庄野 剛史	—
		⑥番	辰田 仁美	庄野 剛史	前部屋 賢	辰田 仁美	前部屋 賢	
消化器内科	B	⑪番	安田 祐子	原 猛	原 猛	原 猛	安田 祐子	—
		⑫番	新垣 直樹	江守 智哉	新垣 直樹	内舘誠センター診 垣本 哲宏	垣本 哲宏	
		⑬番	玉井 秀幸 （肝臓内科）	休 診	玉井 秀幸 （肝臓内科）	玉井 秀幸 （肝臓内科）	玉井 秀幸 （肝臓内科）	
循環器内科	A	⑧番	有田 祐	九鬼 新太郎	林 泰	林 泰 【新患診】	山本 康徳	火・木
		⑨番	当番医	—	当番医	—	当番医	
小児科	C	⑨番	青柳 憲幸	青柳 憲幸	大元 浩明	青柳 憲幸	小森 有紀	—
		⑩番	大元 浩明	小森 有紀	長谷 朋香	小森 有紀	長谷 朋香	
		特診⑨	小森 有紀	—	大元 浩明	青柳 憲幸	【第1週目】 津田 祐子【再診】 【第2週目以降】 宮代 英吉【再診】	
		特診⑩	大元 浩明	青柳【予防接種】	長谷 朋香	小森 有紀	—	
		心工 コー	—	—	—	1・3週 心工コー 根来 博之	—	
外科	B	⑦番	小林 康人	坂口 聡	岩橋 誠	肝・胆・脾 小林 康人	上部消化管 山本 基	月・火・水・木・金
		⑧番	山本 基	清水 敦史	坂口 聡	胃・大腸・食道 岩橋 誠	清水 敦史	
		⑨番	—	—	—	宮本 篤	—	
		⑩番	—	—	—	緩和ケア・NST外来（坂口） ストーマ外来（予約制）	—	
整形外科	B	③番	中谷 如希	腎臓センター診 安藤 宗治	手外科診 峠 康	中谷 如希	安藤 宗治	月・火・水・木・金
		④番	峠 康	岩田 勝栄	麻殖生 和博	スポーツ整形診 麻殖生 和博	岩田 勝栄	
		⑤番	大西 麻起子	中村 憲太	岩橋 弘樹	大西 麻起子	中村 憲太	
		⑥番	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	
		⑨番	—	岩橋 弘樹	リウマチ・膠原病内科診 田中 克典 （第2・4週）	—	—	
脳神経外科	A	⑫番	【第1週目】 寺田 友昭 【第2週目以降】 桑田 俊和	林 宣秀	桑田 俊和	当番医	岡田 秀雄	火・木
		⑬番	岡田 秀雄	—	辻 栄作	—	林 宣秀	
		⑭番	榎本 博記	—	榎本 博記	—	辻 栄作	
		救急待機	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
呼吸器・乳腺外科	A	③番	休 診	当番医 （呼吸器・乳腺外科）	玉置 剛司（午前） （乳腺外科）	玉置 剛司 （乳腺外科）	休 診	月・水
皮膚科	D	①番	下松 達哉	当番医	中村 智之 （乳癌外来）	丸山 希美子	下松 達哉	火
		②番	野原 智子	—	野原 智子	野原 智子	丸山 希美子	
泌尿器科	C	①番	鈴木 淳史	森 壽史	休 診	鈴木 淳史	休 診	水・金
		②番	森 壽史	梅本 秀俊	—	梅本 秀俊	—	
産婦人科	D	⑩番	竹中 由夏	当番医	小林 智子	当番医	当番医	火・木
		⑫番	矢本 希夫	助産外来 （予約制）	矢本 希夫	助産外来 （予約制）	小林 智子	
		⑬番	谷本 敏	尾谷 功	竹中 由夏	谷本 敏	尾谷 功	
		午後 予約	—	—	—	母親教室 （予約制）	松川 仁登美（午後） 再診のみ	
眼科	D	⑤番	芦田 淳	芦田 淳（午後） 再診のみ	芦田 淳	休 診	芦田 淳	月・木
		⑥番	鈴木 映美	鈴木 映美	鈴木 映美		—	
耳鼻いんこう科	C	⑤番	小上 真史	休 診	森山 智美	森山 智美	小上 真史	火・水・金
		⑥番	横山 道明		福田 祐也	横山 道明	福田 祐也	
		⑦番	—		—	—	—	
		午後 予約	—		—	第2・4週 補聴器外来 当番医	—	
リハビリテーション科	D	1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	—
放射線科	D	2診	当番医	峠 康	—	—	—	—
		1診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	
女性専用外来 【完全予約制】	A・D	午後 【予約制】 A⑦番 D⑫番	—	第2週 婦人科外来 柳川 百世 第4週 婦人科外来 笠野 有里	第1・2・3・4週 総合（漢方）外来 辰田 仁美 第1週 漢方外来 松本 朋子	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希未子 第2・4週 漢方外来 神人 美穂子	—	—
専門外来	鍼灸センター【予約制】	禁煙外来（14:00～14:30） 庄野 剛史	—	—	—	禁煙外来（14:00～14:30） 庄野 剛史 肥満外来（15:00～16:00） 中 啓吾	—	—

（注1）

- 小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
- 呼吸器・乳腺外科の月曜日、耳鼻いんこう科の火曜日、泌尿器科の水曜日・金曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
- 母親教室は、毎週木曜日 14時～16時です。（予約制）
- 助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時～15時です。（予約制）
- 耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時～15時となっております。
- 糖尿病教室は、平日月曜日～金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
- 女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
- お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号（451-3303）までお申込みください。
- 各診療科の専門外来については、病院代表番号（451-3181）を通じて各専門外来までお問合せください。
- 整形外科・当番医での予約は受け付けておりません。
- 10.前月から変更がある部分については網掛けで表示します。

（注2）

セカンドオピニオン外来の詳細については、患者サポートセンター
医療連携室（451-3181内線3128）までお問合せください。

※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして
頂きますようお願いいたします。

《診療予約をせずにご来院されますと、担当医師が対応で
きない場合があります。また対応可能な場合でも、待ち時間が
かなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願い
いたします》

【予約専用電話】 073-451-3186

お問い合わせは 和歌山ろうさい病院 医事課

TEL.073-451-3181（代）
FAX.073-451-3788（医事課直通）